

第14回日本レクリエーション学会大会行事

研 究 発 表

1. 日 時 11月4日(日) 午前9時～11時30分
2. 場 所 鹿屋体育大学 講義棟204・205教室
(鹿児島県鹿屋市白水町1 Tel. 09944-6-4111)

理 事 会

1. 日 時 11月4日(日) 午前11時45分～午後12時45分
2. 場 所 鹿屋体育大学 学生会館 会議室

講 演

1. 日 時 11月4日(日) 午後12時45分～1時15分
2. 場 所 鹿屋体育大学 講義棟205教室
3. テ - マ 「これからのレクリエーション研究について」
4. 講 師 江 橋 慎四郎
・日本レクリエーション学会 会長
・鹿屋体育大学 学長

専門分野別連続シンポジウム(最終回)

1. 日 時 11月4日(日) 午後1時20分～3時30分
2. 場 所 鹿屋体育大学 講義棟205教室
3. テ - マ 「余暇行動研究の動向と今後の方向」
～特に研究の方法論について～
4. 演 者 原 田 宗 彦(ペンシルベニア州立大学)
山 口 泰 雄(鹿屋体育大学)
川 西 正 志(中京大学)
5. 司 会 西 野 仁(東海大学)

※ 参加費 (研究発表・講演・専門分野別連続シンポジウム共通)

正会員・特別会員	1,500円
学生会員	1,000円
名誉会員・賛助会員	無 料
全国レクリエーション大会参加費を納入した方	無 料
一般の方	2,000円

●受付は、午前8時30分より開始いたします。

●大会本部は、講義棟1階教官控室 (池田 勝 研究室)

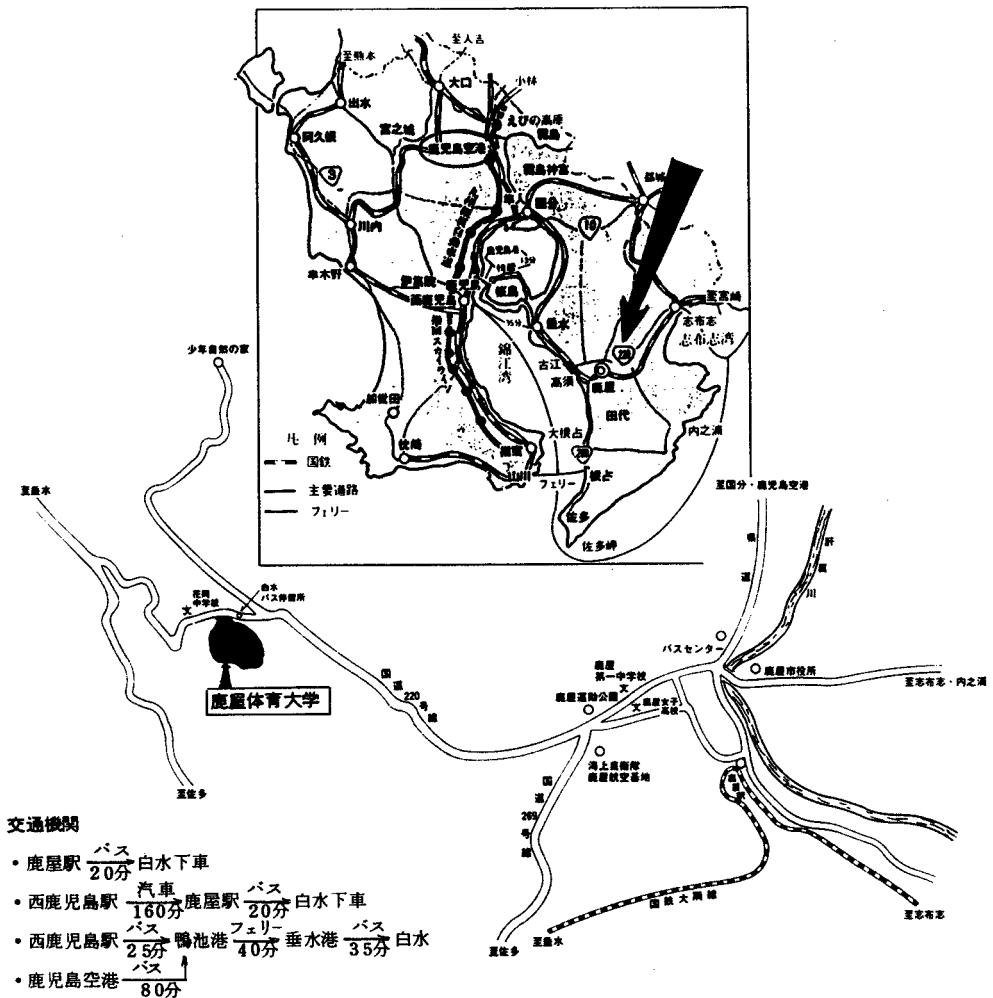
会員懇親パーティー

1. 日 時 11月3日(土・祝) 午後7時～9時
2. 場 所 南国グランドホテル
(鹿屋市共栄町12-3 Tel. 09944-5511)
3. 参 加 費 4,000円
-

日 程 表

時 日	8:30	9:00		11:30	12:45	1:15	1:20		3:30	6:30	7:00	9:00
11/3 (土)											受 付	会 員 懇 親 パ ー ティ ー (南国グランドホテル)
11/4 (日)	受 付 (講義棟 2階)	研 究 発 表 (A会場-講義棟204教室) (B会場- " 205教室)		昼 休 み 理 事 会 (学生会館 会議室)	講 演 (205 教室)	休 憩	専 門 分 野 別 連 続 シ ン ポ ジ ウ ム (講義棟 205教室)					

会 場 案 内 図

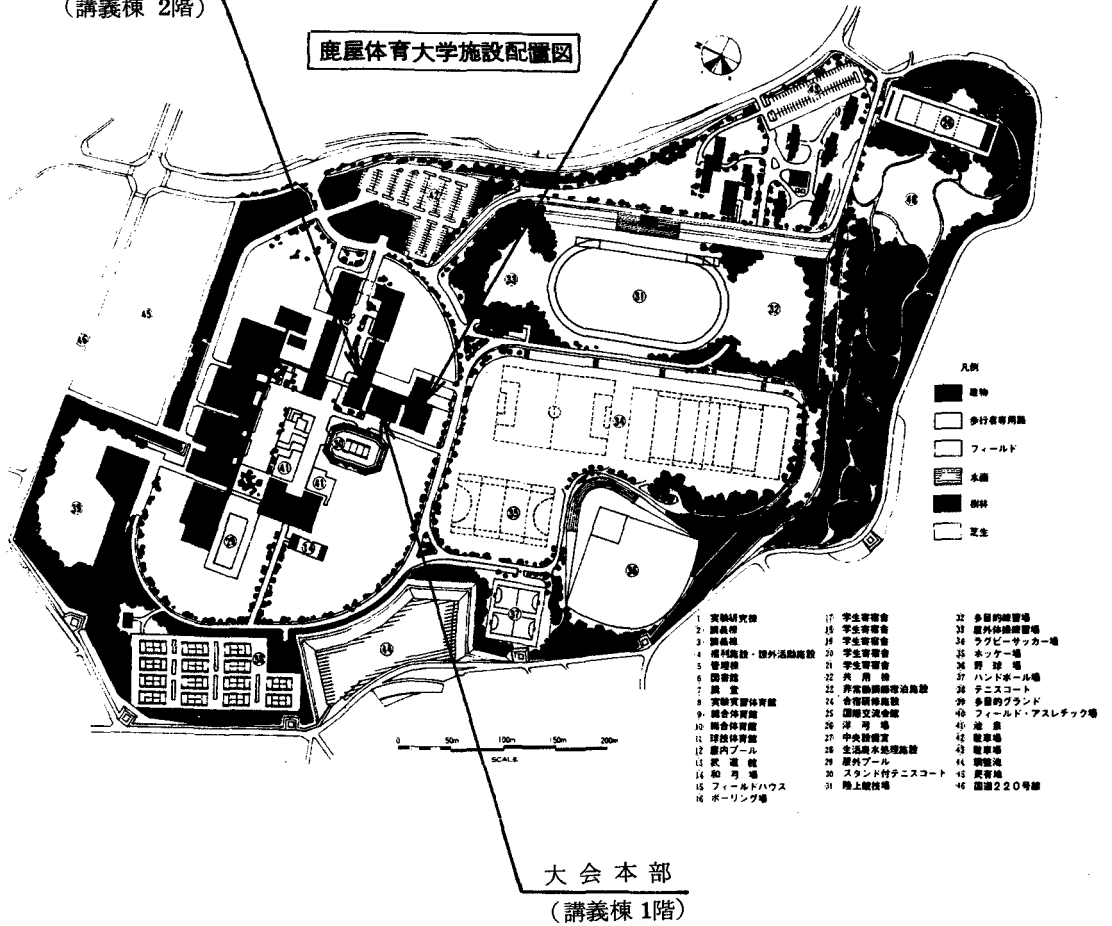


会場配置図

受付研究発表・講演
シンポジウム会場
(講義棟 2階)

理事会 (2階)
食堂 (1階)
(学生会館)

鹿屋体育大学施設配置図



大 会 組 織

名 譽 會 長	三笠宮崇仁親王殿下	
名 譽 顧問	小 川 寿 一	(大阪成蹊女子短期大学)
"	塩 谷 宗 雄	(日本体育大学)
"	白 山 源 三 郎	(関東学院大学)
"	高 橋 眞 照	(淑 徳 大 学)
"	三 隅 達 郎	(国際基督教大学)
"	山 崎 進	(第一経済大学)
会 副 會 長	江 橋 慎 四 郎	(鹿屋体育大学)
"	浅 田 隆 夫	(目 白 学 園)
"	梶 山 彦 三 郎	(福 岡 大 学)
監 事	青 木 泰 三	(大阪薫英女子短期大学)
"	鈴 木 忠 義	(東京農業大学)
"	深 町 一 夫	(松戸商工会議所)
実 行 委 員 長	高 橋 和 敏	(東 海 大 学)
実 行 委 員	秋 吉 嘉 範	(福 岡 教 育 大 学)
"	池 田 勝 毅	(鹿屋体育大学)
"	今 井 毅 三	(日 本 体 育 大 学)
"	金 崎 良 三	(九 州 大 学)
"	木 下 茂 德	(日 本 大 学)
"	進 士 五 十 八	(東京農業大学)
"	鈴 木 秀 雄	(関東学院大学)
"	園 田 碩 哉	(財)日本レクリエーション協会)
"	田 中 祥 子	(津 田 塾 大 学)
"	田 中 鎮 雄	(日 本 大 学)
"	田 畑 貞 寿	(千 葉 大 学)
"	仲 村 要	(同 志 社 大 学)
"	夏 目 暁	(神戸市立母子寮ひよどり荘)
"	西 野 仁	(東 海 大 学)
"	長 谷 川 純 三	(筑 波 大 学)
"	日 比 野 朔 郎	(京 都 府 立 大 学)
"	藤 本 祐 次 郎	(日本体育大学)
"	前 野 淳 一 郎	(財)スペース・コンサルタンツ)
"	松 浦 三 代 子	(東京女子体育大学)
"	松 原 洋 三	(立 教 大 学)
"	官 下 桂 治	(順 天 堂 大 学)
"	渡 辺 貴 介	(東京工業大学)
事 務 局 長 員	西 野 仁	(東 海 大 学)
事 務 局 員	浅 野 晃 恵	(財)日本レクリエーション協会)
"	麻 生 恵 子	(東京農業大学)
"	梅 津 迪 子	(女子聖学院短期大学)
"	川 向 妙 子	(東 海 大 学)
"	寺 島 善 一	(明 治 大 学)
"	芳 賀 健 治	(東京家政大学)
"	師 岡 文 男	(上 智 大 学)

(運 営 委 員 会)

委 員 長	高 橋 和 敏 (東海大学)
副 委 員 長	進 士 五 十 八 (東京農業大学)
本 部 長	西 野 仁 (東海大学)
鹿屋体育大学 事 務 局	池 田 勝 (鹿屋体育大学) 山 口 泰 雄 (") 深 代 千 之 (") 深 代 泰 子 (")
受 付	師 岡 文 男 (上智大学)
研 究 発 表 A 会 場	寺 島 善 一 (明治大学)
研 究 発 表 B 会 場	川 向 妙 子 (東海大学)
理 事 会	西 野 仁 (東海大学)
講 演 ・ シンポジウム	芳 賀 健 治 (東京家政大学)
接 待	梅 津 廸 子 (女子聖学院短期大学)
補 助 役 員	鹿屋体育大学学生 東海大学大学院生 筑波大学大学院生
* 協 力	(財) 日本レクリエーション協会 第 38 回 全 国 レクリエーション大会 鹿 児 島 県 実 行 委 員 会

日本レクリエーション学会大会の推移

1965年から1971年3月までの6年間、日本レクリエーション研究会として年1回研究大会を開催し、「レクリエーション研究」第1号～第6・7号を発行して地道な実績をかためた上で、日本レクリエーション学会は1971年3月に誕生した。

第1回の学会大会は、同年11月4日、北九州市戸畑文化ホールで開催された。

日本レクリエーション学会14年間の学会大会についての推移は次の通りである。

回	年度	開催場所	発表 演題数	講演数	シンポジウム 数
1	1971年	北九州市戸畑文化ホール（福岡県）	21	—	—
2	1972	日本都市センター（東京都）	34	—	1
3	1973	水戸市常陽銀行会議室（茨城県）	21	1	—
4	1974	唐津市市立文化会館（佐賀県）	18	1	—
5	1975	徳島県郷土文化会館（徳島県）	20	—	—
6	1976	秋田大学教育学部（秋田県）	19	—	—
7	1977	富山大学教養部（富山県）	30	—	—
8	1978	横浜市教育文化センター（神奈川県）	20	—	—
9	1979	徳山大学（山口県）	14	—	—
10	1980	石川県社会教育センター（石川県）	22	1	1
11	1981	国立婦人教育会館（埼玉県）	30	—	2
12	1982	日名子ホテル（大分県）	22	1	1
13	1983	北浜労働センター（大阪府）	28	—	1
14	1984	鹿屋体育大学（鹿児島県）	20	1	1

参加者へのご案内

1. 受付

講義棟 2階にて 11月4日(日)午前8時30分より受付を行います。下記参加費をお支払い下さい。事前に参加費を送金された方は、送金時に郵便局から渡された「郵便振替払込金受領証」を当日ご持参の上、ご提示下さい。

正会員・特別会員	1,500円
学生会員	1,000円
名誉会員・賛助会員	無料
全国レクリエーション大会参加費納入者	無料
その他一般の方	2,000円

2. 本部

講義棟 1階教官控室(池田 勝研究室)

3. 車輛の入構について

入構および駐車可能です。駐車場をお使い下さい。

4. 休憩と食事

学生会館 1階の食堂が営業していますのでご利用下さい。

5. 会場内禁煙のお願い

発表会場内は禁煙です。喫煙は、喫煙所・食堂でお願いします。

(発表者へのお願いとお知らせ)

1. 発表受付

各発表会場の入口で発表受付を行います。各自の発表時刻の30分前までに受付をすませ、「次演者席」におつき下さい。

2. 発表資料

研究発表 50 部，シンポジウム 100 部を発表受付時に提出して下さい。資料には，必ず演題番号（例・A-1，A-2），演題，演者氏名を明記して下さい。

3. スライド

スライド映写を希望される方は，発表受付にあるホルダーに，各自で順序正しく正像に写るように入力して，発表 20 分前までに発表受付にご提出下さい。スライドの大きさは，35 mmフィルム用の標準マウント（50×50 mm）に限ります。

4. 発表時間

発表 12 分，質疑討論 3 分です（10 分—ベル 1 回，12 分—ベル 2 回，15 分—ベル 3 回）。

（座長へのお願いとお知らせ）

各発表会場の入口で座長受付を行います。座長開始 30 分前までに必ず受付をお済ませいただき，開始 15 分前までに「次座長席」におすわり下さい。時間を厳守して進行させるようにご協力下さい。

発表取消などで空き時間ができた場合は，討論や休憩にあてられるなど，自由にご裁量下さい。

（討論者・質問者へのお願い）

挙手のあと，座長の合図を待って，所属，氏名を告げたのち，参加者にわかるように発言して下さい。